

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループ第97期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の招集ご通知をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当期は、中期事業計画「R2」（2023年度～2025年度）の最終年度として、「主力ビジネスの利益ある成長の加速」、「新規ビジネスの始動と開拓」においては、リチウム電池で高容量高出力タイプの円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池の開発やニッケル亜鉛電池ではグリッドフリーソーラーカーポートの実証実験への採用、ニッケル水素電池では水素貯蔵タンク用大容量AB2型水素吸蔵合金の開発、SMD小型全固体電池では高エネルギー密度モデルおよび定電圧充電対応モデルの開発を推し進めるとともに新規・深耕開拓に取り組みました。また、アルカリ乾電池では、Energizer Holdings, Inc.との間でブランドライセンス契約を締結しました。ブランド力の高い同社との提携により、販売拡大と認知度向上を図ってまいります。外部環境変化への施策としては、技術VEによるコスト削減および徹底的な経費削減などを推し進めることで人件費や物価等の上昇に対するレジリエンスの強化に努めるとともに、DX推進および人材活用最適化に向けた制度改革等に加えて「転進支援制度」を実施いたしました。

当期の経営成績につきましては、売上高はリチウム電池が増加しましたが、ニッケル水素電池および設備関連ビジネス、電子事業が減少したことにより前期と比べ36億10百万円減少の595億61百万円となりました。営業利益は売上減少による影響はあったものの、原材料価格の変動や技術VEによるコストダウン、円安効果等により前期と比べ2億72百万円増加の16億67百万円となりました。経常利益は前期と比べ1億54百万円増加の14億16百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益はアルカリ乾電池の固定資産などの減損損失や転進支援制度実施による費用計上などがありました。税金費用の減少により前期と比べ2億8百万円増加の7億45百万円となりました。当期の業績の詳細につきましては、当報告書の18ページから22ページをご覧ください。

配当につきましては、当社は減資および欠損填補を実施したことにより長年の課題であった繰越欠損金を解消し、新たな成長ステージへと移行いたしました。当社としても株主還元を重要な経営課題と位置づけておりますが、現時点の有利子負債の水準や将来の成長投資を踏まえ、収益力および財務基盤の強化を優先することが、中長期的な株主価値の最大化に繋がると考えており、誠に遺憾ながら本年度の配当は見送らせていただきたく存じます。今後の株主還元につきましては、事業収益力および財務基盤強化の進捗を踏まえ、今後も適切なタイミングで検討してまいります。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2026年4月28日に発表しました中期事業計画「R3」のスタート年度となる2026年度に関しましては、「R3」に掲げる「現行ビジネスの多角的拡大」、「事業ポートフォリオの多様化」、「失敗に学び、成長を実感できる文化の醸成」の3本柱ならびに目標数値の実現に向けて様々な施策を着実に推進してまいります。「現行ビジネスの多角的拡大」においては、顧客ポートフォリオおよび製品アプリケーションの拡大や製造体制の最適化等に注力することで伸長市場の追求、深耕開拓および付加価値増大に繋がってまいります。「事業ポートフォリオの多様化」においては、次世代電池に加え、将来を見据えた革新型電池の開発を推進することや既存テクノロジーの活用等から新たなビジネスモデルを模索することで新規ビジネスの開拓に努めてまいります。「失敗に学び、成長を実感できる文化の醸成」においては、「果敢に挑戦し、失敗を投資として、将来の価値を生み出す」風土や仕組みづくりに注力いたします。これらの施策に取り組むことで、FDKグループの企業文化・風土等の変革に繋げ、企業価値向上・事業拡大を追求してまいります。そして「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに満足いただく「And Game」を実現してまいります。



代表取締役社長
長野 良

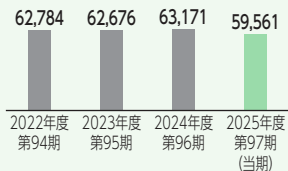
2026年6月

連結決算ハイライト

売上高

595億61百万円

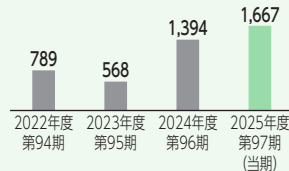
単位:百万円



営業利益

16億67百万円

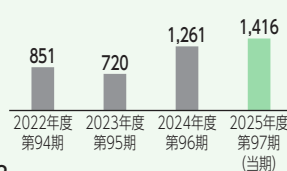
単位:百万円



経常利益

14億16百万円

単位:百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

7億45百万円

単位:百万円

